

第 34 回 コンパス薬局藤沢 スキルアップ勉強会

2017. 04. 13 相原 美穂

『ビラノア錠 20mg』

MeijiSeika ファルマ株式会社

場所：コンパス薬局藤沢

参加者：沢先生 内科職員さん

熊山ともみ 空田さやか 細川亜希子 薦田麻莉子 相原美穂

アレルギー性疾患治療薬を使用している方の満足度は、鼻炎薬では 35%、皮膚疾患薬では 45.7%という現状がある。半数以上の方が、何らかの不満を抱きつつも治療を続けていることがうかがえる。

今回は 2016 年 11 月に発売されたアレルギー性疾患治療「ビラノア錠」について勉強会を行った。

<効能・効果>

アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、皮膚疾患に伴うそう痒

<用法・用量>

成人にはピラスチンとして 1 回 20mg を 1 日 1 回空腹時に経口投与する

<特徴>

① 代謝

体内では CYP 等の薬物代謝はうけず未変化体のまま尿中・糞中へ排泄される。中等度または重度の腎機能障害患者に対しても慎重投与の扱いとなっている。今のところは用量調節については添付文書上にはなく、規格も 20mg 錠のみの発売となっている。

② 副作用

眠気の副作用は大脳皮質のヒスタミン H1 受容体への占拠率で推測できるが、ビラノア錠は受容体への占拠はみられなかった。眠気副作用は 0.6%であり、既存薬剤で最も眠気副作用が低いとされるフェキソフェナジンよりさらに低い発現頻度が期待できる。

③ 用法

食事と吸着して吸収阻害される。必ず空腹時服用が必要となるため、食事 1 時間前または食後 2 時間後の使用となる。

食前 30 分前の服用では 70%くらいが吸収される。開発の段階では投与 10mg と 20m

g では効果の差はなかったので、やや短めの 30 分前でも十分な効果は期待できる可能性はある。

<他剤との比較>

皮膚疾患領域ではセチリジン 10mg との比較（海外データ）が、花粉症状の鼻炎に対してはフェキソフェナジンとの比較データがあり、ともに効果発現の速さにおいて有意差があった。即効性という面では優れている。

同時発売のデスロラタジン（商品名：デザレックス錠）との比較においては、皮膚疾患（膨疹、紅斑、そう痒）に対して優れた効果があったが、鼻炎治療に対する比較データはまだない。

<考察>

アレルギー治療薬を投薬する際、多くの患者さんから眠気の副作用はあるかと質問される。アレルギー薬は眠気副作用がつきものであると浸透している中で、その欠点が改善された薬剤は有用である。まだ発売されたばかりなので、今後治療効果や副作用等の集積データ・他剤との比較データの報告がどんどん発信されるはずである。遂次把握して患者さんが安心して服用できるような投薬・説明に役立てたい。

用法においては 1 日 1 回空腹時を守る必要がある。胃内容物が一番無い起床時服用が最も効果的であると考えらる。